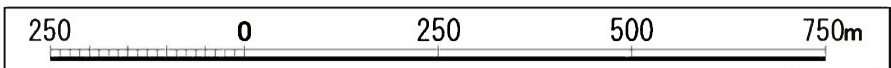
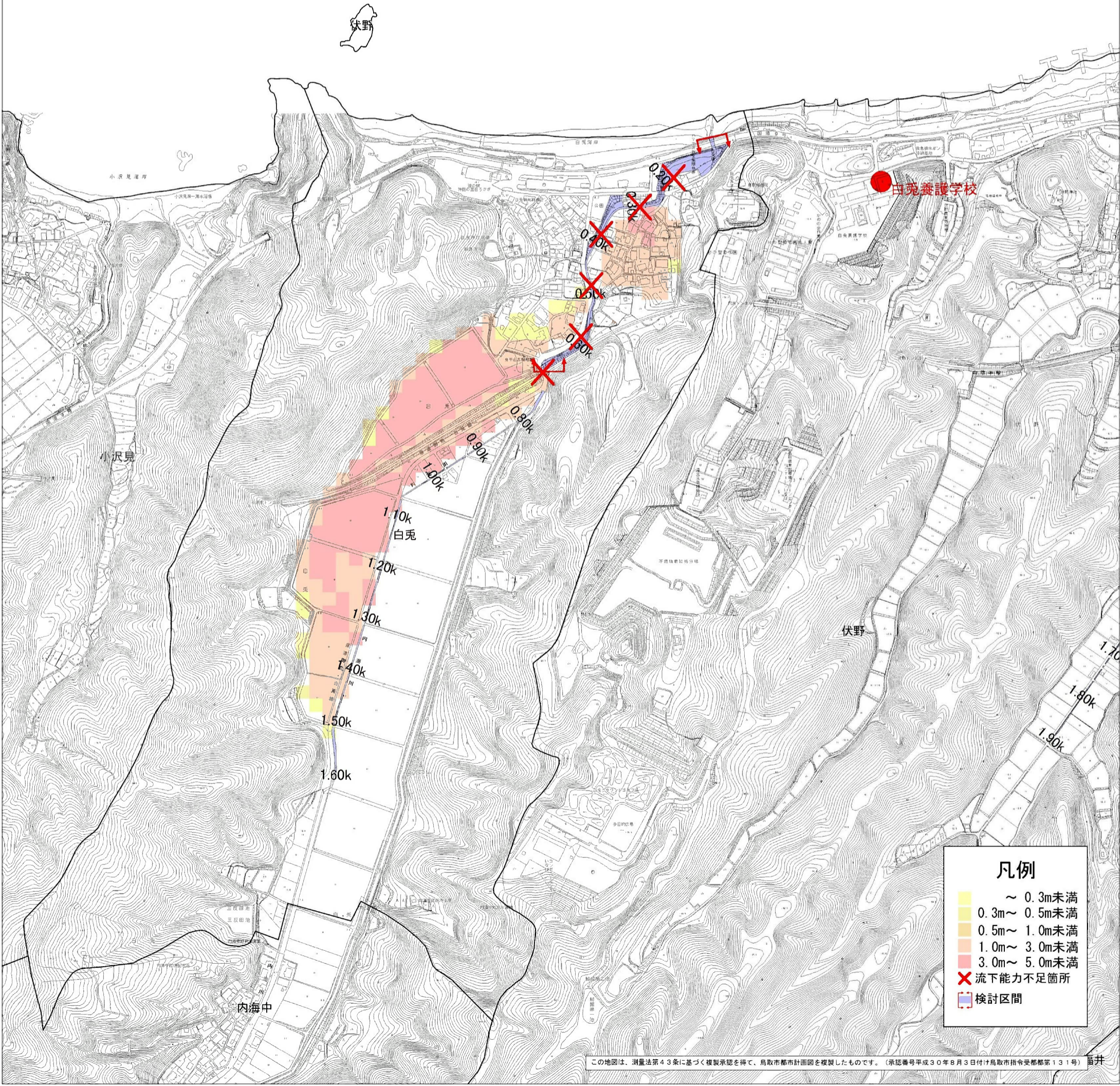


「鳥取方式」洪水浸水リスク図【内海川水系内海川】



<当図の基本事項>
 ◎作成主体・・・鳥取県
 ◎作成年月日・・・平成30年9月7日
 ◎対象区間・・・内海川河口～山陰本線・県道258号線交差付近
 ◎対象降雨・・・時間雨量65.3mm相当
 (双六原雨量観測所50年確率)
 ◎関係市町村・・・鳥取市

<「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは>
 住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全体的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。
 (注1) 洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川
 野坂川、大路川、勝部川、日置川、蒲生川、小田川、河内川、堀見川、八東川、私郡川、三徳川、東郷池、由良川、加茂川、旧加茂川、佐陀川、精進川、小松谷川、日野川、板井原川
 ※留意事項
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります。
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。



凡例	
Yellow	～ 0.3m未満
Light Green	0.3m～ 0.5m未満
Light Orange	0.5m～ 1.0m未満
Orange	1.0m～ 3.0m未満
Red	3.0m～ 5.0m未満
Red X	流下能力不足箇所
Blue Box	検討区間